

# 外国人日本語支援事業

## 「日本語指導研修会」 2020年1月26日(日)

日本語指導といえば20年の経験のあるJET日本語学校の山口閑子先生、今年もボランティアの皆さんに向けてお話頂きました。先生は毎日が新しい発見で、若い人との接点や、慣習の違いにも興味を持つ連続であると仰っています。

指導者としては、教えたがる、話したがる、説明したがるがこれは悪い癖。相手がわかるまでというのもそもそも無理だということ。ではどうすればいいのか～例題を挙げて教えて頂きました。



日本語支援事業のボランティアの皆さん



JET日本語学校、山口閑子先生



優しい日本語の作り方をしましょう！

長い文を短くする。漢語を使わない

★和室→畳の部屋 ★危険→危ない

★如何ですか？→どうですか？等と言い換えましょう。

具体的な教え方については場面設定型が良いでしょう、例えば 病院、交通、レストランでの会話などです。など具体的に大変参考になりました。